



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 互応化学工業株式会社
 コード番号 4962 URL http://www.goo-chem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 兼 経理部部長 (氏名) 荒田 圭久 TEL 0774-46-7777
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,788	△1.9	62	△51.0	69	△54.6	0	△99.4
2019年3月期第1四半期	1,823	△2.6	127	△33.8	152	△22.0	46	△62.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △18百万円 (-%) 2019年3月期第1四半期 △18百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.04	—
2019年3月期第1四半期	7.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,873	13,760	86.5
2019年3月期	16,200	13,999	86.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 13,725百万円 2019年3月期 13,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,800	5.5	190	△14.5	205	△16.3	145	6.5	22.94
通期	7,600	6.3	380	2.0	430	10.3	310	41.7	49.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	6,992,000株	2019年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	669,882株	2019年3月期	669,882株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	6,322,118株	2019年3月期1Q	6,478,343株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、個人消費が雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな拡大が持続しつつある中、中国向けなどを中心とする輸出の減少に起因した製造業の弱さを背景に、全体としては停滞感が強く、貿易摩擦の激化や中国景気の下振れなどの懸念もあり、不透明感が拭えない状況となっております。

このような状況の中、当社グループは以前より変わりゆく事業環境に対応するためのマネジメントとして「組織風土創生」を掲げて活動を続けてきましたが、さらに「セルフマネジメント」を強化する形で、急変する経済情勢に対応しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績につきまして、売上高は1,788百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は62百万円（同51.0%減）、経常利益は69百万円（同54.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は0百万円（同99.4%減）の減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

反応系製品の中で繊維関係は、国内市場は衣料用、資材用とも低迷し前年同期を下回る結果となりましたが、海外市場において当社グループがターゲットとする高級衣料分野が好調に推移し前年同期を大きく上回る結果となり、全体では前年同期を上回る結果となりました。

製紙・印刷関係は、紙加工分野の落ち込みは続き、出版物の減少、パッケージの減少から低迷し、ダイレクトメール用圧着ニスは一昨年並の動きはあったものの好調への転移する動きとは言えず、前年同期を若干下回る結果となりました。

化粧品関係は、国内市場において一部のヘアセット大手メーカーでの動きが大きかったこと、ヘアカラー分野の生産時期が重なったこと、洗浄剤分野において大手メーカーでの新規採用があったことから前年同期を大きく上回る結果となりました。また海外市場において韓国、東南アジア向けが好調に推移しましたが前年同期を下回る結果となり、全体では国内が好調に推移したことで前年同期を上回る結果となりました。

その他工業用分野は、水溶性ポリエステル樹脂の国内市場の主要分野であるフィルム向け、繊維向けとも前年同期より持ち直し、海外市場も引き続き包装材料が好調に推移し、全体としては前年同期をやや上回る結果となりました。転写関係の国内市場は一般住宅用途で回復の兆し、海外市場も前年同期の在庫調整が一段落となり堅調に推移しました。自動車関連は、国内市場は堅調も、海外はEV化の影響を受け低調に推移しました。電子部品関連は自動車市場への展開で堅調に推移しました。メッキ関連は中国政府の環境規制が厳しい中、後進国への展開もあり堅調に推移も、国内は加工量が低迷し、低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は1,540百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は292百万円（同24.9%増）となりました。

(混合系製品)

電子材料関係はパソコン関連製品は回復の兆しとなりましたが、アミューズメント業界の回復ならず低調に推移、LED照明も引き続き在庫調整の影響を受け低迷しました。中国政府の環境規制の影響で中国PCB工場の稼働率が落ち、レジストインクの販売も低迷しました。

その結果、当セグメントの売上高は248百万円（前年同期比6.4%減）、営業損失は67百万円（前年同期は利益34百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は15,873百万円と前連結会計年度末に比べ、326百万円減少しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ222百万円減少し9,884百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が43百万円、仕掛品が35百万円とそれぞれ増加しましたが、現金及び預金が206百万円、その他に含まれている未収消費税等が88百万円とそれぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ104百万円減少し5,988百万円となりました。これは、有形固定資産が43百万円、投資その他の資産が58百万円減少したこと等によるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ54百万円減少し1,598百万円となりました。これは、その他に含まれている預り金が81百万円増加しましたが、未払金が37百万円、賞与引当金が100百万円とそれぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ32百万円減少し514百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が6百万円増加しましたが、役員退職慰労引当金が39百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ239百万円減少し13,760百万円となりました。これは、利益剰余金が221百万円、その他有価証券評価差額金が18百万円とそれぞれ減少したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から206百万円減少し1,040百万円となりました。

各キャッシュ・フローの概要は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は41百万円（前年同期は減少195百万円）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益41百万円（前年同期比64.1%減）に対し、減価償却費87百万円（同2.4%増）及び未払消費税等の増加額106百万円（前年同期は減少額71百万円）、その他流動負債の増加額85百万円（前年同期比23.2%減）などがあったものの、役員退職慰労引当金の減少額39百万円（同14.3%減）及び賞与引当金の減少額100百万円（同14.3%減）、売上債権の増加額61百万円（前年同期は減少額57百万円）、未払金の減少額55百万円（同増加額9百万円）があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は35百万円（前年同期比67.5%減）となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入1,141百万円（同51.0%減）があったものの、定期預金の預入による支出1,141百万円（同50.8%減）及び有形固定資産の取得による支出33百万円（同70.7%減）があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は211百万円（前年同期比61.0%減）となりました。これは、前期に支出した自己株式の取得による支出の減少（前年同期は支出額291百万円）及び配当金の支払額211百万円（前年同期比15.1%減）があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、概ね予想の範囲内で推移しておりますので業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,028,343	5,821,824
受取手形及び売掛金	1,634,168	1,677,341
電子記録債権	335,508	351,756
有価証券	300,729	300,364
商品及び製品	803,332	773,844
仕掛品	299,134	334,781
原材料及び貯蔵品	519,664	492,845
その他	193,729	139,333
貸倒引当金	△7,051	△7,126
流動資産合計	10,107,559	9,884,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,591,840	4,594,264
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,204,388	△3,225,225
建物及び構築物(純額)	1,387,452	1,369,038
機械装置及び運搬具	6,697,727	6,673,428
減価償却累計額	△6,162,348	△6,181,098
機械装置及び運搬具(純額)	535,378	492,329
工具、器具及び備品	1,129,501	1,159,103
減価償却累計額	△956,032	△967,853
工具、器具及び備品(純額)	173,469	191,249
土地	2,613,507	2,613,507
建設仮勘定	5,214	5,214
有形固定資産合計	4,715,022	4,671,339
無形固定資産		
投資その他の資産	75,245	73,417
投資有価証券	1,180,229	1,154,845
繰延税金資産	97,503	65,563
その他	40,685	39,253
貸倒引当金	△15,771	△15,771
投資その他の資産合計	1,302,646	1,243,891
固定資産合計	6,092,914	5,988,649
資産合計	16,200,474	15,873,614

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	455,654	472,197
電子記録債務	643,194	620,314
未払金	244,976	207,133
未払費用	3,210	450
未払法人税等	3,619	6,088
賞与引当金	201,940	101,233
役員賞与引当金	14,500	7,000
その他	86,349	184,105
流動負債合計	1,653,444	1,598,523
固定負債		
役員退職慰労引当金	95,837	56,565
退職給付に係る負債	451,473	458,398
固定負債合計	547,311	514,964
負債合計	2,200,755	2,113,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	12,763,791	12,542,783
自己株式	△696,010	△696,010
株主資本合計	13,737,771	13,516,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210,197	192,089
為替換算調整勘定	18,099	17,477
退職給付に係る調整累計額	△758	△731
その他の包括利益累計額合計	227,538	208,836
非支配株主持分	34,408	34,527
純資産合計	13,999,718	13,760,126
負債純資産合計	16,200,474	15,873,614

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,823,787	1,788,968
売上原価	1,160,601	1,176,201
売上総利益	663,186	612,767
販売費及び一般管理費	535,705	550,306
営業利益	127,480	62,461
営業外収益		
受取利息	2,499	2,184
受取配当金	3,272	4,241
為替差益	3,779	2,118
受取補償金	16,778	—
その他	4,439	3,094
営業外収益合計	30,769	11,638
営業外費用		
売上割引	3,383	3,015
持分法による投資損失	1,339	1,455
その他	590	125
営業外費用合計	5,313	4,595
経常利益	152,936	69,504
特別利益		
固定資産売却益	—	107
特別利益合計	—	107
特別損失		
役員退職慰労金	35,056	28,507
固定資産除却損	3,560	12
特別損失合計	38,616	28,520
税金等調整前四半期純利益	114,319	41,090
法人税、住民税及び事業税	4,871	2,140
法人税等調整額	63,622	38,564
法人税等合計	68,493	40,704
四半期純利益	45,825	386
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,082	265
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△256	120

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,171	△18,107
為替換算調整勘定	△42,454	△625
退職給付に係る調整額	△123	29
その他の包括利益合計	△64,748	△18,704
四半期包括利益	△18,922	△18,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,530	△18,436
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,392	118

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	114,319	41,090
減価償却費	84,949	87,011
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,119	75
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△117,498	△100,707
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,375	△7,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△45,797	△39,271
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,450	6,961
受取利息及び受取配当金	△5,771	△6,426
為替差損益 (△は益)	△2,484	661
持分法による投資損益 (△は益)	1,339	1,455
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△107
有形固定資産除却損	3,560	12
売上債権の増減額 (△は増加)	57,175	△61,659
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△206,279	20,648
仕入債務の増減額 (△は減少)	122,456	△6,333
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△71,852	106,657
未払金の増減額 (△は減少)	9,503	△55,546
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,883	△2,759
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△17,520	△27,125
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	111,034	85,321
その他	△17,959	839
小計	△2,754	43,300
利息及び配当金の受取額	5,211	6,230
法人税等の支払額	△197,769	△8,465
営業活動によるキャッシュ・フロー	△195,312	41,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,320,523	△1,141,245
定期預金の払戻による収入	2,330,858	1,141,007
投資有価証券の取得による支出	△1,340	△1,402
有形固定資産の取得による支出	△115,401	△33,847
有形固定資産の売却による収入	—	107
無形固定資産の取得による支出	△220	—
固定資産の除却による支出	△3,560	—
貸付けによる支出	△694	△743
貸付金の回収による収入	313	220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,568	△35,903
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△291,828	—
配当金の支払額	△248,743	△211,147
非支配株主への配当金の支払額	△426	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△540,998	△211,147
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,575	△359
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△858,455	△206,344
現金及び現金同等物の期首残高	1,831,331	1,247,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	972,876	1,040,991

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,558,432	265,354	1,823,787	—	1,823,787
セグメント間の 内部売上高又は振替高	44,720	—	44,720	△44,720	—
計	1,603,153	265,354	1,868,508	△44,720	1,823,787
セグメント利益	234,054	34,122	268,177	△140,696	127,480

(注) 1. セグメント利益の調整額△140,696千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,540,642	248,325	1,788,968	—	1,788,968
セグメント間の 内部売上高又は振替高	39,185	—	39,185	△39,185	—
計	1,579,828	248,325	1,828,154	△39,185	1,788,968
セグメント利益 又は損失(△)	292,227	△67,648	224,578	△162,117	62,461

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△162,117千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。